

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471500320	事業の開始年月日	平成16年2月1日	
		指定年月日	平成18年4月1日	
法人名	株式会社ユニマットそよ風			
事業所名	湯河原温泉ケアセンターそよ風			
所在地	(〒259-0314) 神奈川県足柄下郡湯河原宮上771-24			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	27名	
		ユニット数	3ユニット	
自己評価作成日	平成26年2月27日	評価結果 市町村受理日	平成26年4月23日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然に囲まれた湯河原温泉郷に位置し、源泉かけ流しのお風呂に入り、穏やかな気持ちで毎日を過ごして頂ける。又、周辺は竹林があり、癒される施設として地域に貢献し、根付いていく。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成26年3月26日	評価機関 評価決定日	平成26年4月18日

【事業所の優れている点】

◇事業所の周囲は、竹林や山林など自然豊かな環境に恵まれ、リビングの障子越しの窓から桜や新緑、紅葉など四季折々の変化が感じられ、利用者は、習字や塗り絵など好きなことを楽しみながら生活している。広い庭はよく手入れされ、筍の季節には利用者が掘った筍が食卓に上がることもある。
 ◇各ユニットには、石造りの広い源泉かけ流しの温泉があり、毎日のように温泉を楽しむ利用者もいる。入浴の時間や湯温、同性介助など利用者の希望に配慮している。利用者からは、肌がきれいになった、足の痛みが楽になると好評を得ている。
 ◇地域の一員として自治会に加入し防災訓練や地域の清掃に参加している。非常災害時の緊急時避難場所として湯河原町と協定を締結している。
 ◇日々の暮らしや行事のお知らせを伝える各ユニット通信を発行して、遠方や面会が困難な家族にも利用者の日常や表情を伝えている。家族と利用者をつなぐのも施設の役目としている。

【事業所の工夫点】

◇職員の質やサービスの向上のため、法人内の他グループホームとの交換研修や情報交換、地域の事業所連絡会への参加など研修に努めている。
 ◇利用者の好きなこと、出来ることを尊重して無理強いしないように趣味の道具が自由に使える工夫をしたり、見やすい大型TVを設置したりと楽しんで生活できる配慮が随所にある。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	湯河原温泉ケアセンターそよ風
ユニット名	花ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念である「そよ風憲章」を一人ひとりが理解し、実践に繋がれるように努めている。	・法人の「そよ風憲章」に基づきユニット毎の職員が作成した理念を各部屋に掲示して常に利用者が笑顔で過ごせるように日々実践している。 ・ユニット会議、全体会議で接遇研修をして確認をし理解を深めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の公園にご入居様と掃除に参加したり、施設で行事を行う時は地域の方を招待している。	・地域の助け合いが不可欠と考え、自治会（温泉場会）に加入して利用者とともに近隣の掃除をしたり、地域の防災拠点になり職員が防災訓練に参加している。 ・地域の方をバーベキューや納涼祭に招待をし介護相談も受けている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症対応デイサービスやショートステイを実施し、地域貢献に努めている。又、ボランティアの受け入れをしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議に参加し、ご家族様や役場の方より意見を頂いております。又、その意見を基に反映しております。	・2か月に1回家族、地域の老人会の代表者、湯河原町役場の担当者の参加を得て意見交換をしている。 ・今年度は、利用者の受診の負担軽減や医療連携の充実などを議題にして様々な意見をいただいている。	・地域性や立地などから毎回家族の参加や地域からの参加が難しい点があります。今後はメンバー構成などを再考したり、行事の日を利用したり集まりやすい工夫が望まれます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村とは日頃より連絡を取っており、研修の案内などの情報交換を行っている。	・町役場の担当者とは、運営推進会議の開催案内や議事録を毎回手渡している他、日ごろから関係を密にして顔が見える関係作りを心がけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は身体拘束を行わない事を前提にケアし、実践している。又、やむを得ず身体拘束を行う場合はご家族様に同意書を頂いている。	・身体拘束はしないケアを基本に、職員の都合を優先しないで、利用者の安全に配慮して環境を整備している。 ・利用者と家族からベッドからの転落が怖いため柵をしてほしいという訴えがあり、夜間だけ柵をしている事例がある。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議等でご入居者様の状況や状態を職員間で十分話し合い、ご入居者様のQOLを把握し、向上や虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修や会議等で学ぶ機会を持ち、支援を行えるよう協力している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書や重要事項説明書等に基づき、十分な説明を行い、理解と納得を図っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様やご入居者様からの意見や不満に思うことを聴ける環境を整え、それらを全体会議等に反映している。	・利用者の意見や要望は、日常の何気ない会話から把握して具体化している（行きたいところや食事の献立など）。 ・面会時や家族会で出た意見を運営に活かして行事の開催日を変更したり日程の調整をしている。小さなことも言いやすい環境を作っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	エリア会議や協議会等で聞いた情報を全体会議等で職員へ反映し、意見交換を行っている。	・職員からの要望や気づきを気軽に言える環境ができている。劣化している備品の交換なども法人に伝え迅速な対応を行っている。 ・職員の研修の充実を図るため法人内のグループホームで交換研修をしてサービスの向上を図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年1回以上処遇改善の機会を持ち、正社員への申請ができる。又、職場環境を整備し、働きやすい様努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	意識向上に繋がるよう各ユニットごとの研修結果を全体会議で共有できるようにしている。又、一人ひとりにあった研修を提案や受講するようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域の勉強会や事業所へ訪問等して、交流を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期面接にて出たご本人やご家族様の要望や不安を含めた状況を職員間で周知し、ケアに繋げている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面接時にご本人やご家族様の不安や要望を聴き、安心して頂けるようなケアの計画を提案している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他事業所との連携を図り、ご本人・ご家族様の要望を見極め、その方の要望や条件に合ったサービスを提供できるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と一緒にご本人のできる事や得意な事を行った時は共に喜んだり、感謝の言葉を伝え、関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に一度写真を添えた手紙と各ユニットごとの新聞を送付し、様子を伝えている。又、行事などがある時は案内を出して、一緒に参加して頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	ご本人の馴染みの場所にドライブに出掛けたり、馴染みの方の面会や電話等対応する様、努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や近隣をドライブして昔からのなじみの場所や自宅を確認したり、初詣や買い物などで昔から利用していたところに出かけたりしている。 ・地域の友人が訪ねてきて会話を楽しむ利用者もいる。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご入居者様の誕生日会には皆様で祝ったり、行事を開催する等し、ご入居者様同士の交流を深めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もご家族様や関係者様にも行事案内をしたり、情報交換はいつでもできる体制をとっている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者様の希望やお気持ちを行動や会話の中から汲み取れるよう努めている。又、ご家族様の協力を仰ぎ、要望に積極的に実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・意思の疎通が困難な利用者には、表情や行動、介助時の体温などで変化をくみ取っている。 ・日々の暮らしや様子から音楽をかけると音に合わせてリズムを取る利用者には音楽をかけて楽しんでもらったり、家族から好きなことを聞いて実践している。 	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	食事や入浴等の生活を大切に考え、ご自宅で使用されていた家具や思い出の品をお持ち頂き、安心した生活環境を提供している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケア記録やケアプラン等を参照し、日々の心身状況を把握するよう努めている。又、職員にも共有できるように申し送りノート等も参照している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	個々のニーズに対応した計画を作成する為、ご入居者様の様子をよく知り具体的な計画を出し合っている。	・居室担当制をとってきめ細やかなモニタリングをし計画作成に反映させている。 ・医師や訪問看護師の意見を計画作成に生かしてユニット会議で話し合っている。家族がケアカンファレンスに参加することもある。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	より良い介護につなげる為、日々の記録を基に引継ぎやユニット会議で疑問や提案を出している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様やご入居者様のニーズに対応している。又、認知症デイサービス・ショートステイを行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居後も地域との結びつきを大切にしている。又、ボランティアとの交流を図り、イベントを行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご入居者様の体調の変化や急変時を見逃さず主治医とのコミュニケーションを図り、受診又は電話相談等をしている。	・訪問介護の看護師が週1回訪問して利用者の体調管理や変化に対応をしている。 ・入居前からのかかりつけ医には家族の支援や職員の付き添いで受診している利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護師にご入居者様の状況を伝え、適切な対応や相談等助言して頂く。又、24時間オンコール対応ができる体制をとっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご入居者様の早期退院を出来るように関係機関や病院との情報交換をしている。又、不安を取り除く為、面会も出来る限り行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人とご家族様の意思を尊重し、医師と連携を持ち、グループホームで出来る限りの生活を提供している。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時に重度化した場合や終末期の希望を聞き、状況や変化に応じて家族、主治医と相談しながら対応している。 ・法人の方針や家族の希望から今後終末期のターミナルケア対応への移行の予定がある。 	職員の研修の充実や終末期対応をするにあたっての職員の精神的なケア、家族の協力や医療連携の強化など体制づくりをすることが今後の課題です。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員の連絡先・病院の連絡先をわかりやすい場所に掲示し、緊急対応マニュアル等を活用している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は年2回実施しており、消防署との連携をとっている。又、職員間で避難経路等の確認をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の避難訓練の他、年2回防災関連の点検時に消防署に協力を仰ぎ通報、消火器の訓練をしている。 ・湯河原町と防災協定を結び、玄関前を地域の防災訓練の集合場所とし、地域防災訓練に参加している。 ・備蓄の非常食、水はチェックリストで量や有効期限などを確認している。 	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	失禁などがあった場合は、他のご入居者様にわからないような配慮を行っている。又、個室の為プライバシーは守られている。	・職員は、ユニット会議や全体会議で接遇やプライバシーについて話し合っている。不適切な言葉使いは、個々に注意をしている。 ・敬語を基本にしながら利用者と信頼関係を作り、利用者の好む言葉かけをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご入居様が何をしたいのか等の意思やニーズを汲み取り、自己決定を働きかけている。又、入浴時にはご本人で着替えを選んで頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様のペースに合わせてお一人ひとりの時間を大切にし、ご希望に添った支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に一度訪問理美容を行っている。又、誕生日会や行事などには職員対応でお化粧を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に調理の手伝いをしたり、食器拭き・収納等できる事を行っている。又、季節ごとに合った食事を提供している。	・食材は地域で調達し、敷地内で採れる筈の時季には筈料理を楽しんでいる。利用者の希望食は誕生会や外食で反映している。 ・利用者は「おいしいね」と職員と会話をしながら食事を楽しみ、出来る範囲で片付けなど手伝っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご入居者様一人ひとりの食事量、水分量を記録している。又、毎日栄養士が作成した献立表を基にバランスの摂れた食事を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行っている。又、訪問歯科を受診し、口腔ケアや処置を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけや誘導をしている。又、日中はトイレにて排泄をして頂いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の排泄パターンを把握し、さりげなくトイレに誘導して自立への支援をしている。 ・入所時のおむつの使用からリハビリパンツに改善した利用者がある。 ・夜間はポータブルトイレを使用して支援をしている利用者がある。 	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事量・水分量をチェックし、便秘がある時は医師に相談して下剤の調整や乳製品や食物繊維がある食事を提供し、工夫をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの好みの温度で入浴して頂き、楽しんで頂いている。又、源泉かけ流しなので皆様楽しみにしておられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・源泉かけ流しの温泉で、肌がつつるつるになり、足などの痛みが軽減すると利用者に喜ばれている。 ・毎日の入浴が可能で、利用者の好みの湯温に調整し、職員との会話を楽しみながら入浴している。 ・利用者の身体状況に合わせて見守り、車いすでの入浴などの支援をしている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	リビングのソファでの休息や居室で休んで頂いており、安心して気持ちよく過ごして頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方の変更等スタッフ間で申し送りを徹底している。又、服用時・配薬時は職員で二重確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	手芸や塗り絵等個々の楽しみに対応出来るよう支援している。又、誕生日会などには好きな食べ物を提供したりしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人の買い物やドライブ等を希望に合わせて外出している。又、ご家族様の協力を仰いで外出の機会を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の周辺は急坂で危険なので、広い敷地内を散歩している。 ・職員は利用者の希望を聞き、化粧品などの買い物、ドライブ、又季節ごとの花見に出かけている。 ・車いすの利用者もレンタカーと一緒に江ノ島へ遠出し楽しんでいる。 	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご入居者様の現金は施設でお預かりし、買い物等があれば職員が付き添い、行っている。又、その都度必要な物があれば購入をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	月に一度ご入居者様の様子を手紙に書き、写真を同封して送っている。又、ご家族様とお話しをしたいと要望があれば職員が付き添い、電話対応をしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には防災カーテンを使用しており、加湿器やエアコン等で温度調整を行っている。又、季節を感じられるような花や折り紙や絵を飾って、季節感を味わって頂いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・居間の窓の全面が障子戸になっており、窓から見える竹林の景色と馴染み落ち着いている。 ・温湿度はエアコン、加湿器等で適切に管理している。 ・壁には利用者と職員で作成したカレンダーなど季節感を採り入れた作品が飾られている。 	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人になりたい時は居室でゆっくりくつろいで頂いたり、気の合ったご入居者様同士で会話をできるような席の配置をするなどし、配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	昔から使用されている物や家具・仏壇等を置いて、ご本人が好まれる物を飾り、違和感なく過している。	<ul style="list-style-type: none"> ・居室にはベッド、エアコン、遮光カーテン、カウンター、収納力の高いクローゼットが設置されている。 ・利用者はテレビ、布団、椅子、空気清浄機などを持ち込み、家族からのプレゼントを飾ったりして、その人らしい部屋にしている。 	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	食器拭きや洗濯物たたみ等ご本人ができる事やわかる事を活かして、行っている。		

事業所名	湯河原温泉ケアセンターそよ風
ユニット名	月ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ユニット独自の理念「ご利用者様の自由を尊重し、ありがたいの笑顔を頂ける介護を実践します」の理念を共有し、実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	センターのイベントに近隣の方や老人会の方に参加を頂いている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	災害時、緊急避難場としての協力・協定を町と締結しています。又、介護なんでも相談を実施し、認知症の理解を深めて頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催している。運営推進会議で行政の職員・ご家族様からの意見を反映し、より一層のサービス向上に努めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	町主催の事業所連絡会・ケアマネ連絡会に参加して、情報を交換し、サービス情報を提供しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	緊急又は能力低下により、身体に危機が及ぶ可能性が大きく回避しきれない場合、拘束検討委員会にて十二分に検討すると共に、ご家族様の同意を得られた時のみ実施される。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	実践者研修・介護支援専門員更新研修やその他研修に参加し、学ぶ機会を確保し、全体会議・ユニット会議で周知し、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者及び職員は、グループホーム協議会等の研修に参加し、終了後には報告書を作成し、職員全員に回覧して、全体会議等で再確認を実施している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族様に契約書・重要事項説明書の内容を十分時間を掛け、分かりやすく説明を実施し、ご家族様が内容を十分納得されてから契約を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常の生活の中で、ご入居者様やご家族様が意見や不満等を職員に伝えやすい環境を整え、頂いたご意見を職員間で共有し、センターの運営に反映している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の全体会議において職員の意見を聴く機会を設けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	様々な研修等に参加することで、能力を磨く努力をしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護福祉士や介護支援専門員等の資格取得の支援や社内外の研修案内の掲示等をしており、職員を派遣している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	社内間での職員の交換研修や社内研修等を通じて交流を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様と会話をし、どのような生活をしたいか等の要望を聴き、反映するよう心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご利用者様が入居する際にご家族様の不安を軽減するように話しを傾聴し、不安を取り除くようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本様・ご家族様としっかり話しをして、どのような支援が必要なのかを一緒に考えている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様のできる事とできない事を見極めて、サポートしながらケアの実践を行っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の面会時や電話連絡等により、情報交換を密にし、ご入居者様を支え合う関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	ご家族様や知人等の面会を受け入れて、ご本人様が安心できるような支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの性格を理解し、尊重と尊厳を大切にして出来る事については役割を持って頂く。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族様と連絡をとり、退去後のご本人様の様子を伺ったり、ご家族様へイベントの案内を出すなど継続していく。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自己実現を阻むような状態が生じていないかをご入居者様と共に考え、欲求段階を視野に入れて、より高い段階を目指す計画的・意図的な関わり合いをしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活環境に大きな変化がない暮らしを実施し、サービスをする。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご入居者様が日常生活を良好に維持でき、より良い生活を送る為に、職員間で把握し、問題解決に取り組む。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご入居者様の状況や環境・ADL等を確認し、ご家族様の要望やニーズを把握し、それらを介護計画へ盛り込む。又、その後モニタリングをしている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご入居者様の日々の健康状態や状況等を支援記録や申し送りノート等を活用し、職員間での情報共有へ役立てており、日々の変化等を見逃さないようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご入居者様・ご家族様の状況を確認し、ご希望があればデイサービスやショートステイの活用をする。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの協力を頂き、イベントを行う。又、防災訓練は定期的実施し、参加できるご入居者様にも協力して頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	健康状態を把握し、日常生活の変化をかかりつけ医に報告や訪問看護に相談や助言を仰いでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護にてご入居者様の状態を伝え、指示を受け、対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院の医師・看護師・相談員との連絡をまめに取り、早期退院に向け、ご入居者様の把握に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に文書にてご家族様の意思を確認し、重度化になる前にこまめにご家族や医療機関等と連絡をとるようにしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	月1回の全体会議・ユニット会議でご入居者様の情報共有や情報交換をし、状況把握をしている。又、緊急時には24時間ナースとの連絡がとれる体制が整っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	非常食は常に賞味期限をチェックしている。又、飲料水の確保もしている。防災訓練も年2回行っており、災害時に備えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	温かみのある声かけを心掛けており、一人ひとりの個性を大切にしている。又、個人情報の提出については同意書を頂いている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食事・入浴・レクリエーションなどご自分で選択できるようにしている。又、居室にて休みたい方は居室で休む様にして頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居者様のペースに合わせて安心して暮らせる様に見守りをしている。又、ご本人様に趣味等があれば一緒に参加し、楽しんで頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1回の訪問理美容を利用され、カット後には喜びの声が聞かれています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が進まない方は声かけし、時間をかけて召し上がっております。又、本日の献立を伝えて、季節感も味わって頂いております。食後には職員と一緒に片付けのお手伝いをして頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分量はチェック表に記録し、毎日のトータルを把握しています。又、栄養や水分が足りない分はゼリーやヨーグルト等の口当たりが良いもので対応等しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを実施しており、清潔の保持をしております。又、訪問歯科が必要な場合は受診して頂き、チェックやアドバイスを頂いています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	職員はご入居者様の排泄パターンを把握し、声かけや誘導等してなるべくトイレで排泄できるように支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事量・水分量等をチェック表で確認し、排泄を確認している。又、いも類・牛乳・バナナ・寒天等をお食事時に提供し、予防や対応をしております。又、音楽に合わせた適度の運動も実施しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴時間や温度はそれぞれの方に合わせて考慮しております。又、源泉かけ流しのお風呂なので、皆様楽しみにしております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は起床して頂いて、生活リズムを作り、運動や歌を唄ったりとその方に合う好きな事をして頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は個人別にファイルがあり、いつでも見られるようにしている。又、誤薬防止の為、服用時は職員同士で二重確認をしている。ご入居者様の状態に応じて医師の確認をとり、薬の調整等も行なっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器拭き・洗い・洗濯物たたみなど一人ひとりに合わせて、得意なことを把握し、行って頂いております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気のよい日や温暖な日等は職員が付き添い、散歩やドライブなどを行っております。又、夏は地域のお祭りや秋はドライブなど季節の行事などにも参加しております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご入居者様の金銭管理は職員が行っており、ご本人様のご希望があれば買い物支援等を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙や電話のご依頼があった場合はプライバシーやご家族様の意向を考慮しながら支援を行っております。又、電話での会話は居室にてゆっくりお話しして頂いております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同生活の場としてご入居者様の心安らぐ空間作りを心掛けております。落ち着いた環境作りの為、照明など明るすぎない様配慮しております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	新聞や読書をされたり、一緒にテレビを観て過ごされて会話を楽しまれ、ご入居者様同士の関係性なども配慮しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には使い慣れている家具や生活用品を持ち込まれ、ご自分の部屋として安心できる工夫をしております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご入居者様の移動空間には手摺りの設置や転倒につながる物等ないか環境のチェックを心掛けています。		

事業所名	湯河原温泉ケアセンターそよ風
ユニット名	星ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	施設内各所に運営理念を掲示。フロア内にユニット理念を掲示し、常に意識づけを行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の防災訓練や清掃などに参加しており、施設のイベントの際には近所の方を招き、交流を深めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	緊急時の避難所としての受け入れ態勢や実習生・ボランティアの受け入れを取っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での話し合いを活かし、理解を深めている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者と日頃の現状をお伝えし、協力関係を築くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修や会議での周知を図り、拘束を行わないよう職員が実践している。又、やむを得ず身体拘束等を行う場合はご家族様と話し合いをし、同意書を頂いている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全体会議やユニット会議でご入居者様の状態を話し合い、職員がストレスからの虐待を行わない様職員同士協力し、注意を払っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修や会議等で学ぶ機会を持ち、支援を行えるよう協力している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約書・重要事項説明書に基づいて、十分説明している。又、不安や疑問点の面でも話し合いをし、理解、納得をして頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議・家族会等でご家族様からの意見を聞き入れ、会議にて話し合い、反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議や各ユニット会議が毎月1回開かれ、意見交換等行い、常に話し合える環境ができています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	希望する研修に参加できるなど各自の向上心に基づき、スキルアップの機会を作っている。又、勤務状況や実績に応じた正職員雇用制度も整い、今後も継続されている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の情報を常に掲示し、外部での研修参加を促している。又、個々のレベルアップを図る為、他センターとの交流や意見交換等を行ったり、社内研修を行うなどの取組みを行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	医療機関や役所等の設ける研修会に参加し、よりよいサービスの質の向上を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の要望をしっかりと傾聴した上でユニット会議等で意見と対応を共有し、問題解決や改善に努め、信頼関係に繋げている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前や入居時の面談にてご家族様への傾聴を行い、何を必要とされているのか確認し、適切なサービスを提供し、信頼関係に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族様から得た情報を基にやりたい事、困っている事、心配な事など、何を求めているか見極め、ケアプラン作成や生活の改善に繋げている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人ができる範囲でのお手伝い（掃除、食器洗い、洗濯物たたみ）等やレクリエーションを職員と一緒にしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人の日常生活やその時々様子や状況をご家族様に報告し、ご協力頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	大切な方々（ご家族様や友人等）と面会したり、電話や手紙のやり取りを通じて、関係の維持に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	席の配置を配慮し、ご入居者様同士のコミュニケーションがしやすい様に移動したり、他ユニットのご入居者様と交えてレクリエーションを行い、支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後においても近況を報告して下さったり、ご相談等があればその都度支援できるようにしています。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で会話や行動等に思いや意向を汲み取り、都度対応に努めています。また、把握が困難な方はご家族様のご協力を仰ぎながら支援を行っています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	担当のケアマネ・相談員やご家族様からの情報やご入居者様とのコミュニケーションを通じて、これまでの生活歴や生活習慣の把握を図っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご入居者様の状態が常にわかる様に記録を心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にカンファレンスを行い、支援方法等を話し合い、会議議事録にて情報公開を行っている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個人の生活日誌に身体の変化等を具体的に記録し、職員間での情報共有を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様・ご家族様において環境の変化に常に対応できるサービスを行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの方々や老人会との交流を行っている。また、消防署と消防訓練等を通じて交流を続けている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期受診を通して、継続的な支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護師により、日頃の健康状態を観て頂き、排便・病気の相談等指示を頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した場合、早期退院に向けて話し合いを行う。電話連絡等にて協力を医療機関と行っている。又、ご本人と面会し、状態把握や様子確認に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	今後の変化による支援に向けて、ご家族様やかかりつけ医師と話し合いを検討し、方針を決定している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	月に一度のユニット会議・全体会議にてご入居者様の状況や今後の起こりうる事例やリスクマネジメントを周知している緊急対応時も連絡網等により、確認がとれており、緊急マニュアルがある。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練を実施し、消防署への届出を行っている。又、消防署の方々や消防点検業者による消火・避難訓練を行い、指導して頂いている。又、非常時に備え、非常食・飲料水を備蓄している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに配慮した言葉掛けや対応をしている。又、支援記録には個人が特定できる記録は行っていない。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご入居者様がご自分で決めたり、ご入居者様の希望を大切にし、それらを促す取り組みを日常的に行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや都合で業務を進めるのではなく、ご入居者様が自由にご自分のペースを保ちながら暮らせる様な支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に一度の訪問理美容にてご入居者様の希望に沿うようカット等をして頂く。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員もご入居者様と同じ食事を一緒に摂り、食べ方の混乱、食べこぼし等に対するサポートをさりげなく行っている。又、行事を大切にし、メニューに取り入れて楽しんで頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各個人の食事量や水分の摂取量は、日々食事毎と水分摂取時間別に記録をしていて、トータル的に把握している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは常に行っている。必要に応じて、訪問歯科に依頼している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて各個人の排泄を記録し、排泄パターンを把握し、トイレでの排泄時での誘導や自立に向けた支援をしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表にて把握して、主治医から処方されている下剤で調整を行っている。日々の食事にも食物繊維を多く摂取できる様工夫している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご入居様が希望される時間に出来るだけ浴うように入浴して頂く。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1日の生活パターンを把握し、その中での睡眠リズムを崩さない様支援していく。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医より説明を受け、各ご入居者様の薬箱へ服用時間毎に分け、それぞれの服薬時間にダブルチェックで確認し、誤薬防止をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々に行える食後の食器洗いや洗濯物たたみ等を行っている。ご入居者様の方々の誕生日には皆様で御祝いを行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気のいい日には買い物を兼ねた散歩やドライブ等も行っている。又、地域の祭り等を見に行き、地域の方々との交流を図っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は施設にて一括管理をしていますが、本人の申し出があれば職員が同行し、買い物等に行く支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様が直接電話が出来ない場合は職員が代わりに対応し、ご家族様に伝えたり、手紙等も依頼があれば代筆等も行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居様が一同に集まるリビングは、その日の天候等に合わせ、こまめに温度、湿度管理をしている。又、季節感漂う花やご入居様が制作した絵や書画等も展示している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間のリビングではソファに座り、テレビ・DVD観賞や新聞などを読んだり、絵や書画を作成したりと思い思いに過ごせるよう配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居させる以前に自宅で使用されていた家具等を持ち込んで頂いたり、思い出の写真等も飾って頂き、安心して過して頂く様工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご入居様の一人ひとりの能力を把握し、声かけしながらこの施設での生活が安全に過せるよう見守りを行う。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 湯河原温泉
ケアセンターそよ風

作成日 平成26年4月18日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	4	○運営推進会議を活かした取組み ・地域性や立地から毎回家族や地域の方の参加が難しい点があります。	構成メンバーを入れ替えたり、新規の方への呼びかけ等を行い、参加者を変更する動きをする。	既存のメンバー、新規の方への声かけや自身で探すなどしていく。	運営推進会議が2ヶ月に1回なので、その都度声かけし、早めに行う。
2	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 ・現在看取りを行っていないので、今後の体制作りと職員への研修・ご家族への説明など。	開所以来行っていなかった事なので、法人との協力を得ながら実施に向けていく。	職員への研修や看取りに対する体制作りを一から行うので、法人の協力を得ながら、慎重に行う。	ここ一年の間に取り組めるようにする。
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。